

2026年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『世界一幸せな国』フィンランドの高齢者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント

フィンランド在住歴32年、高齢者福祉と教育の現場で長年視察プログラムや交流アシスタントを担当してきたコーディネーター、**ヒルトゥネン 久美子**さんが講師を務めます。画像や動画を用いたレクチャーや福祉施設の現場で働くスタッフのインタビューを通して、「世界幸福度ランキング」8年連続1位を誇る北欧の小国、**フィンランドの高齢者福祉の現状と課題を詳しく解説**します。

- 1 久美子さんの人生観を変えた重度認知症高齢者施設「ヴィッラ・タピオラ」。最期まで自分らしく生きる施設での取り組みをご紹介します。
My介護士制度 自己決定権 日頃のアクティビティ
- 2 昨年、大手企業の傘下に入った「ヴィッラ・タピオラ」。その変化の中で、何が新しくなり、何が変わらずに守られているのかー現場スタッフの声を通して、現在地を探ります。
- 3 入居者の日常を垣間見る写真、ビデオを多数ご用意。(個人情報に厳しい北欧諸国において、入居者が写る資料は大変貴重です。)
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場スタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

ヒルトゥネン 久美子氏

オンライン研修の
経験も豊富！



フィンランド在住歴32年。全日空、フィンランド航空客室乗務員を経てフィンランドに移住。
2003年にKH Japan Management Oy(KHジャパンマネージメント株式会社)を設立、代表を務める。

教育、保育、福祉分野を専門とし、通訳、視察・プロジェクトのコーディネート業務を担当。

担当件数は年間約30件、これまで7,000人に及ぶ日本の方々にフィンランドを紹介してきた。本物のフィンランドを日本に紹介し、日本の未来構築に貢献することをミッションとしている。

【見学施設】

Attendo Villa Tapiora
＜アッテンドウ ヴィッラ タピオラ＞

高齢者が最期まで自分らしく生きることができる重度認知症高齢者施設。そのサービスの質は高く評価されており、2021年には国連の高齢者人権調査団が視察に訪れた。首都ヘルシンキに隣接するエスポー市にある。2025年3月、北欧諸国で大々的に福祉事業を展開するAttendo社の傘下に入った。



1日目：講義

日 時：2026年9月24日(木)
日本時間 16:00～18:00

- フィンランド高齢者福祉の概要
北欧の小国が高福祉国家となり得た背景には貧しい国の歴史と自然環境が大きく影響しています。
文化的背景をふまえ、解説します。
- 福祉サービスについて
- 2日目の高齢者施設の概要説明
- 質疑応答

2日目：高齢者施設見学

日 時：2026年9月29日(火)／ 9月30日(水)
日本時間 16:00～18:30

- ※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。
- ※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

- 「ヴィッラ・タピオラ」で実践している取り組み
事前に録画したビデオをご覧ください。
現場から学ぶ成功例、“本当に必要なサービスとは？”
My介護士制度、自己決定権、入居者の日々の様子などをご説明します。
- 大手企業の傘下に入った「ヴィッラ・タピオラ」の“現在地”とは？
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します

